

## 平成27年第9回島田市教育委員会定例会会議録(ホームページ用)

日時	平成27年9月24日(木)午後2時00分～午後3時15分
会場	島田市金谷庁舎 第1会議室(2階)
出席者	牧野高彦委員長、五條早規子委員、高橋典子委員、濱田和彦教育長
欠席者	北島正委員
説明のための出席者	小出教育総務課長、服部学校教育課長、浅田学校給食課長、南條社会教育課長、杉山図書館課長、孕石文化課長
会期及び会議時間	平成27年9月24日(木)午後2時00分から午後3時15分まで
会議録署名人	五條委員、高橋委員
教育部長報告	
事務事業報告	教育総務課長、学校教育課長、学校給食課長、社会教育課長、図書館課長、文化課長
付議事項	なし
協議事項	(1) 教育委員会に関する事務の点検・評価について
協議事項の集約	(1) 事務局から提案するもの (2) 各委員が提案するもの
報告事項	(1) 平成27年8月分の寄附受納(工事)について (2) 平成27年8月分の生徒指導について (3) 島田市芸術文化奨励賞選考委員会委員の委嘱又は任命について
会議日程について	・次回島田市教育委員会定例会 平成27年10月22日(木)14:00～ 島田市役所金谷庁舎 2階 第1会議室 ・次々回島田市教育委員会定例会 平成27年11月27日(金)14:00～ 島田市役所金谷庁舎 2階 第1会議室
委員長	開 会 午後2時00分 それでは時間となりましたので、平成27年第9回島田市教育委員会を開会いたします。 会期は、本日9月24日の1日とします。 発言は全員着席にて行ってください。発言する場合は、指名された方以外は、委員名、職名を告げ、発言許可をとってから発言してください。

さい。

会議録署名人は、五條委員と高橋委員にお願いします。

それでは、最初に教育部長報告からお願いします。

### 教育部長報告

教育部長は、本日人事の面接ということで、申しわけございませんが席を外させていただきましたので、かわりに私のほうから報告をさせていただきます。

それでは、1ページ、2ページをごらんください。

9月議会の概要を説明させていただきます。

現在、9月議会定例会の会期中でございますが、9月30日水曜日が最終日となっております。9月9日から11日までが一般質問の予定でしたが、9月9日が台風18号の影響で延期となりまして、10日から14日に一般質問の日が変更になりました。また、議案質疑も14日午後からということで行われました。

まず一般質問でございますが、教育委員会に係るものとして、2人の議員から質問がありました。その概要は、お手元の資料1ページから2ページの記載のとおりでございます。

報告させていただく内容につきましては、前回同様、教育長からの最初の答弁以降の、議員からの再質問に対する内容を中心に報告いたします。

1ページ目をお開きください。

まず、伊藤議員から、放課後や休日時、また、個人的な自主練習時におけるグラウンド使用に関し、学校からの、中学生は小学校へ行って遊ばないようにとの指導についてどう考えるかとの質問がありました。

ある中学校で7回ほど、校内での飲食やたばこ、花火の跡があつて、片づけがされていない状況があつたため、小学校が地域向けの学校だよりを出し、警察へのパトロールの依頼、近隣の小学校・中学校にも指導をお願いした。小学校等を使用する場合、学校に許可を得て使うこととなっているが、一概に、全ての学校で部活動の練習をすることを禁止してはいない。希望する子供は、学校に許可を得れば利用は可能となっているとお答えしました。

また、学校のグラウンドを使用するには使うほうも一声かけ、また、使わせる方も積極的に子供たちに声をかけるなど、コミュニケーションをよくし、相互に協力し合いながらよりよい使い方を模索していくということが大事であるとお答えいたしました。

次に、清水議員からは、まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みとして、小規模特認校制度に係る質問がありました。

まず、伊久美小学校の教育の特色は何かの質問については、①豊かな自然環境に囲まれた地域で、さまざまな自然体験を通して命の大切

さや自然の豊かさを学べること、二つ目として、24人の小規模校であるため、全校でのキャンプやオペレッタなど、学年の違いにとらわれない活動ができること、三つ目として、ふるさと学習発表会や文化祭など、地域の方とつながり、さまざまな分野で子供や学校を支援してくれることが特色であるとお答えしました。

さらに、小規模特認校制度を導入している県内の状況に係る質問については、確認できた小学校として、5市で九つの小学校が導入しているとお答えしました。

また、特認校卒業後の進路先は、もとの中学校に行くことになるが、伊久美地区の子供と同じ北中学校に行かせたいといった要望はあるか、またどのような対応を考えているかとの質問については、6年間一緒に過ごして親しくなった友達と別れるのはつらい。同じ学校に行かせてあげたいといった要望はある。過日、通学区調査審議委員会を開催し、指定校の変更を検討しており、委員からは変更賛成する意見が多く出されている。対応についても、来年度の就学に対応できるようにしていきたいとお答えしました。

その他の一般質問では、平松議員から、市民会館の解体に要する経費と維持管理費は幾らかについての質問に対し、解体にかかる工事費の額は、県外他市の市民会館解体工事費等を参考に試算し、約2億円を見込んでいる。維持管理経費は、平成27年度予算額では約260万円を計上しているとお答えしました。

また、桜井議員から、平和行政への取り組みに関し、広島、長崎での平和祈念式典へ中学生を派遣することについては、島田市では以前、中学校の修学旅行で広島に行き、平和公園でいろいろな活動をしてきたが、時間や費用等の問題があり、だんだんと減ってきている。川根中学校は、長崎に行き平和学習を行っている。また、島田空襲の話については、「わたしたちの島田市」にも載せ、全ての子供たちが平和について学習しているとお答えしました。

以上が一般質問の概要です。

次に、議案質疑について、お手元の資料3ページから5ページに記載してあります。

平成26年度一般会計決算の認定に係る質疑では、まず、青山議員から、日本の教育に足りないものは何かについて、子供に考えさせることをさせない教育が行われていることに対し、教育委員会でしっかり議論ができてきているかの質問がありました。

平成10年に総合的な学習が取り入れられ、子供たちがみずから課題を見つけて、対応策や提案を行う学習を全ての教科で行っている。川根中学校の地域提案はまさに自分たちで考える教育であり、考えさせない教育が推進されているということはない。

また、教育委員が毎年、各学校を訪問して授業を参観しているが、

授業改善も進んでいるとお答えしました。

また、教育委員会の会議ではこういった協議を行っているかの質問については、平成26年度は協議案件として実質17件を協議し、6件は例規に関するもので、残り9件の内容は全国学力・学習状況調査の公表や教育委員会に関する事務の点検評価などであるとお答えしました。

2点目として、外国人英語指導経費について、学校では何の成果目標を立てて取り組んでいるのかとの質問がありました。

中学校では、CAN-DOリストを作成し、生徒に英語を使って何ができればよいかを明確に示し、評価を行っている。3人のALTを効果的に活用し、コミュニケーションを行うことで、適切に評価を実施し、生徒の英語力の定着を確認している。

英語の会話定着度は、各学校では、このCAN-DOリストにより子供たちのスピーキング、ヒアリングの程度の力をつける授業を行っており、中学校では、適切なスピードで2分程度の会話活動を続ける目標を持って子供たちに指導を行っている。

1年生、2年生、それぞれ段階ごとに目標を持っている。教育委員会としては、授業がわかる子供が80%以上を目標としているため、CAN-DOリストの目標値も80%の達成を目指しているとお答えしました。

また、英会話が2分程度できる子供たちの割合についての質問に対しては、毎年、全教科でどのくらい授業が理解できているかのアンケートを行っているが、その中に、英会話が2分程度できる子供たちのデータはないとお答えしました。

3点目として、夢ふくらむ文化活動事業について、夢を育むこと、子供の発達や成長とのかかわりについての質問がありました。

しまだの教育の中で、豊かな心を育てるをうたい、その核となる三本柱のうち、一つに強い心というものを挙げている。子供たちが夢を育むためには、強い心、新しいことへの挑戦、粘り強い努力が夢実現に大切となる。文化活動のようなすばらしいものを見せることと同時に、そうした心を育てており、結果的に望ましい子供を育てることにつながっていると答えました。

また、県へ予算づけの要望や来年度予算額についての質問に対し、島田市の特色ある教育活動の一つであり、県要望は考えていない。来年度要求については、今ある予算を評価検証する中で検討していきたいとお答えしました。

最後に、山村都市交流センターの管理運営について、他市の施設はどの部署で所管しているか、また、この施設は1課だけの取り組みでは広がっていかないがどう取り組もうとしているかとの質問がありました。

静岡市の都市山村交流センターは、中山間地域振興課などの部署が所管している。この施設は、条例では社会教育事業を基幹とした施設であるほか、都市と農村の交流や地域活性化を図ることも目的としている。

こうした目的が達成できるよう、庁内関係部署とはこれまで以上に連携に向けた働きかけを行っていきたいとお答えしました。

次に、横田川議員から、島田図書館移転による変化について、閉架書庫は離れているが問題はないかとの質問に対し、1日の利用者数も限られており、今のところ特段この閉架書庫に伴う問題等は聞いていないとお答えしました。

また、図書館利用者にとって併設のおび・りあ駐車場は使いやすくないのではとの質問に対し、おび・りあ駐車場には認証機があり、それを使えば最初の30分間は無料になる。他の駐車場と同じ1時間無料化については、1階の商業施設への影響から延長は難しいとお答えしました。

また、おび・りあ駐車場の認証機を2階にも設置しないのかの質問がありました。この認証機は、島田ショッピングビル株式会社が設置したもので、以前、図書館では2階への設置について交渉しましたが、1階の商業施設への配慮のため設置できなかった経緯がある。要望を踏まえ、関係会議でお話をさせていただきたいとお答えしました。

そして、15日は常任委員会で、一般会計補正予算及び平成26年度決算の成果についてそれぞれ審議をいただきましたが、概要は省略させていただきます。

以上、9月議会におけます教育委員会に関する案件について説明いたしました。

以上でございます。

委員長

はい、ありがとうございます。

教育部長報告が終わりました。何か御意見、御質問ありますか。

それでは、次に移ります。

### 事務事業報告

委員長

事務事業報告に移ります。

補足説明のある課は説明をお願いします。

教育総務課長

それでは、お手元の資料の6ページをごらんください。

予定でございます。

9月28日月曜日でございますが、第2回総合教育会議を予定しておりますので、よろしくお願いいたしたいと思っております。

説明は以上でございます。

学校教育課長

学校教育課について、お願いします。7ページと8ページになります。

まず実施についてですが、9月9日の日ですが、台風18号のため、

学校給食課長

全校、全市休校としました。したがって、第五小学校が9月9日から自然教室に行く予定でしたけれども、10月8日、9日ということで変更になったと聞いています。

また、第二小学校は9月9日からになっていますが、10日から行って、1泊2日で実施したというふうに聞いています。

また、教育委員さんのほうには中学校の体育大会、小学校の運動会には応援に参加していただきまして、本当にありがとうございました。

伊久美小学校も予定どおりいきましたし、とてもいい運動会だったということでお話を伺っております。ありがとうございました。

なお、8ページについてですが、前後期制をとっている学校がありますので、前期の終了の学校が幾つかございます。また、中学校については文化的な行事ということで行われる予定になっております。

以上、つけ加えをさせていただきました。

9ページをごらんください。

実施と予定の欄になりますが、さきに済みません、実施のほうの9月18日、一番下ですが、金曜日ですが、保護者試食会、参加者12人でございます。神座小学校でございます。

中部給食センターが4月から稼働しまして、おおむね半年がたとうとしております。業務も少しずつ落ち着いてきたために、2学期から市のいろいろな団体だとか学校の見学試食会を受付しております。これは学校給食の普及啓発を図るためということでやっております。

9月は、9月8日、学校の県事務の方の施設見学、あと9月11日、16日、18日、9月24日につきましては各小学校の保護者の方とか、あと、社会教育課の関係の母親学級の関係の関係者、あと家庭教育学級の関係者等の試食会等が既に行われております。

特に、9月16日は社会教育課の関連の母親学級の学級長さんの試食会ということで、47名の非常にたくさんの保護者の方が参加していただきまして、充実した施設とか、あと衛生管理が徹底されている状況もよく見ていただいて、非常に驚いておりました。

あと、当日、昼食にスパゲティのミートソースのソフト麺が出ました。非常においしいとの声をいただきました。

今後も、10月、11月、12月まで、こういった試食会だとか見学会とかが徐々に入りつつあります。

11月17日から19日は、中部学校給食センターの市民試食会等も予定しております。また別途、来月以降にまたこれについては報告させていただきます。

以上です。

社会教育課長

社会教育課の事務事業について、資料は10ページから12ページでございます。

まず、実施については10ページです。

9月3日、これは今年度からの新規事業でございますが、小学生を持つ親の講座を開始しております。昨年まで、小学生を持つ親の講座というのが非常に人気があつて、特化したものはなかったものですから、今年度から小学生の親を対象に始めております。

9月5日のしまだガンバはばたけリーダーの合同の川根で遊ぼうについては、野守の池の和船漕ぎがだいいちテレビで放映されました。

それから、9月6日の五和小学校の家庭教育学級の学習会のスーパー団子づくり、土団子づくりも静岡新聞に掲載されております。

それから、9月13日の親子ふれあい講座でございますが、今までは公民館等を利用しておりましたけれども、本年度初、今回初、ローズアリーナで開催いたしまして、過去最大の263人の参加を得ております。

それから人数の追加でございますが、9月16日、フレンズのロープウェイ遊び、参加者は28名でございます。

それから、同日の、先ほど学校給食のほうから報告がありました第2回家庭教育学級長の学習会は47名。

それから、9月17日の小学生を持つ親の講座の第3回目の参加者は27名。

9月20日、青年ボランティア講座シマイク、稲刈りでございますけれども、48名。

それから、同日島一中学区の育成事業の二小学区の世代交流グラウンドゴルフ大会でございますが、53名。

続いて、今後の予定でございますが、11ページでございます。

今年度からの新規事業が2件開始されます。10月2日、初めて0歳児を持つ親の講座、それから10月8日、幼児・児童を持つ親の講座、それぞれ本年度初の事業を開始いたします。

以上、補足説明いたしました。

図書館課の事務事業の報告をさせていただきます。

実施につきましては、13ページであります。

9月1日から9月8日のうちの、ちょうど5日間ですけれども、常葉短期大学2年生1名のインターンシップの受け入れを行いました。

その下の9月17日から10月27日まで、さわる絵本展を実施いたします。9月17日につきましてはオープニングセレモニー、さわる絵本お話を実施いたしました。

これにつきましては、静岡福祉大学の学長、副学長、図書館長、図書館の課長の出席をいただきました。教育委員会からは、教育長、部長の出席をいただいております。

図書館課長

このセレモニーにつきましては、希望の家、うたしあ、きらり、この三つの授産所の方30人の参加をいただいております。

続いて、9月18日、高齢者おはなし会ですけれども、参加者15名の記入をお願いいたします。

実施については以上です。

次に、予定です。

9月25日、金曜日です。さわる絵本展おはなし宅配便という形の中で、駿遠分教室でお話会を実施します。

9月26日につきましては、さわる絵本おはなし会、これは金谷図書館におきましてお話ししたり、金色の玉手箱によるボランティアの方のおはなし会を実施いたします。

10月8日から27日につきましては、これは文化課になるのですが、徳川家康の足跡という形で、志戸呂焼と諏訪原城の展示が行われます。これは文化課で行われるのですが、これに引き続きまして、来年度、真田丸という大河ドラマが始まるものですから、これと諏訪原城をかけて、1月31日に、今からでも城通になれる、「諏訪原城から真田丸へ」という題目で、合併10周年の記念講演を図書館課主催で、文化課の協賛をいただきまして実施します。

細かいことが決まりましたら、また順次報告をさせていただきたいと思っております。

以上です。

文化課長

文化課ですが、15ページ、16ページをごらんいただきたいと思っております。

9月12日から10月25日まで、特別展、分館15周年を記念いたしまして、博物館・分館の共通展として、「棟方志功 心の旅 美の旅 ー祈りと文学ー」を開催しております。チラシが、遅くなりましたが皆様のお手元に別途、チラシを配付させていただきましたので、またごらんいただきまして、10月25日まで分館、本館ともに開催しております。

今回、棟方志功のこれだけの代表作品が島田の博物館で展示ができますのも、日本民藝館さんに御協力をいただく中で開催しております。

9月21日には石井頼子氏、この方は棟方志功氏のお孫さんに当たりまして、棟方志功の研究、さらには日本民藝館の運営協議会委員もやられている方ですが、その方に棟方志功についての御講演をいただきました。お孫さんということで、御家庭の中での棟方志功さん、さらには東海道五十三次のシリーズがあるのですが、そのときに島田に棟方志功が来られてスケッチをしておりますので、そのときの様子などを含めてお話をさせていただきました。

ここで、ちょうど抜けているところがありましたので、少し人数を書き加えていただきたいと思います。

9月19日ですが、古文書講座は20人。

9月20日のしまはくワークショップは参加者3人。

9月21日の記念講演ですが、参加者が63人という方にお見えになっていただいております。

以上、文化課の事業報告とさせていただきます。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

事務事業報告が終わりました。質問、御意見のある方はお願いいたします。

学校給食課長 先ほど、学校教育課のほうから9月9日の台風18号のときに休校になったということで、学校給食のほうも、当日の朝に休校になったということで、給食のほうも急遽全校中止といたしました。

食材等、野菜等が既にキャンセルが効かずに入ってきてしまったものですから、部分的に、翌日に回せるものとか、冷凍品は翌週の献立と入れかえすることができましたので、部分的にはそういった形で入れかえをするなどして食材を無駄にしないように対応を図っております。

委員長 今の件ですけれども、やはり、大型の冷蔵庫とか、新しい機械が効果を発揮したということですかね。量が多いじゃないですか。

学校給食課長 機器も新しくなって、大量に保管できるものですから、冷凍品の保存がきくものですから、そういった形で対応できるようになりましたので、非常によかったと思います。

委員長 ありがとうございます。いろいろ考えていただいて非常に助かります。

委員長 はい、C委員。

C委員 質問です。

学校教育課の事項についてお願いします。

9月7日の小規模特認校説明会と、14日、15日の学校見学会、例年もこの時期だとこれぐらいの参加人数なのでしょうか。

学校教育課長 昨年度は2件というか2家族、説明会には出席してくださったんですけど、うち1家族が、ちょうど兄弟がいたものですから伊久美に入りました。

ことしはそこに書いてあるように、当日、9月7日の説明会にはゼロだったんですけども、学校の説明会が2日間予定されていたので、2家族見学に行ったということを知っておりますが、その後どうかということについてはまだ把握しておりません。

C委員 わかりました。ありがとうございます。

委員長 はい、A委員。

A委員	<p>学校教育課さんに、川根小学校のことで。</p> <p>引っ越しを済ませて、子供たちが新しい校舎で生活をするようになってもうじき1カ月ぐらい経つんですが、元気な声で通っているのを時々見かけますが、例えば情緒に問題がある、かがやきのクラスの子供たちに何か変化はないでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>済みません、その辺についてはまだ把握はしていません。</p> <p>ただ、音に敏感な子があつたりするので、別の学校で、耐震の関係で音が出て少し過ごしにくいということは聞いてはいますが。</p> <p>また、済みません、その件についてはまた把握して。とても大事なことです。ありがとうございました。</p>
A委員	<p>またもし、情報が入りましたら教えてください。</p> <p>それともう1件、社会教育課さん、お願いします。</p> <p>9月5日に野守の池でボートをにぎやかにやっていて、子供たちがとても楽しそうで、わいわいがやがや、とてもよかったなというふうに思いました。</p> <p>前回の定例会のときに、大井川のコンディションが悪かったときのことを考えなければいけないということをおっしゃったんですけども、今後、何かこれにかわるもの、例えば、今回の池でのボートとかカヌーもいいんですけども、何かお考えのことがあれば少し教えてください。</p>
社会教育課長	<p>先ほどの件は、前回のときにも指摘されまして、少し触れましたが、教育長からもいろいろアドバイスをいただいたりしまして、既に持っている素材を生かせるのではないかということで、前回申し上げたのは笹間中時代にボートがあるということで、現物はみていないのですか、そういった素材を生かして、天候に左右されないような身近な自然のところで、使った何かができないかとかを検討しているところでございます。</p> <p>大井川の濁流といいますか、流れを使ったものが全てではないものですから、ワイルドな部分を、もっとより叙情的なものとか、そういったものに切りかえた形のものもあるかもしれないということで検討しているところです。</p>
A委員 社会教育課長	<p>何かいい案があれば、よろしくお願いします。</p> <p>ぜひ、言っていただければ検討を。今、している真っ最中でございます。</p>
A委員 委員長	<p>ありがとうございます。はい、結構です。</p> <p>はい、C委員。</p>
C委員	<p>社会教育課の事項でお伺いしたいんですが、初倉放課後子ども教室フレンズクラブのことです。</p> <p>子供の居場所の一つというふうに考えると、とてもいい取り組みだなと思っています。項目を見ますとロープウェイ遊びとか、楽しい内</p>

社会教育課長

容で、子供たちだけではなく保護者もきっと嬉しい、安心して、嬉しく思っていると思います。

ほかの地区でこういう取り組みをしようという予定だとか、具体的な計画ではなくても、声が上がって、広がる見込みがあるのかどうか、お伺いしたいのですが。

御指摘のとおり、放課後児童クラブとは趣を異にしておりまして、放課後、家に帰ってしまうとゲームなどをしたりとか、あるいは、特に中山間地域ですと外に出ると家が遠いので、実際、出られない。そういうところで、放課後に子供たちが外に出て遊ぶ機会が少なくなっているというところで、社会性が培われないという危惧がありまして、子供たちの社会性を培って、集団の中で自分の肯定感や有用性を見出していただくというようなことを目的にしております。

これを展開するには、場所と、それから地元のボランティアの方々、特に中高年の方々の協力が必要でございまして、条件が揃っているところがなかなかございません。初倉では条件が揃って開始できたということです。

嬉しいことに、湯日地区で初倉西部のしろやまを舞台に、全く自主的に同様の取り組みを開始していただいております、先日、開所が行われたところです。

地元のお年寄りたちが自主的に子供たちを預かっていただくと、行政側はほとんど御支援申し上げずに立ち上がったということで、こういう形が一番望ましいのではないかなというふうには思っております。

今後も、実情に応じて働きかけを強めていきたいなというふうに思っているんですけども、こうしたものをお手本にしていきたいなというふうに考えているところです。

委員長

では、私のほうから社会教育課長に、少し教えてもらいたいんですが。

初めての試みですけども、小学生を持つ親の講座、参加者30名、1回目、2回目、それから3回とやられてどんな様子だったかということと、それから、9月13日の親子ふれあい講座をローズアリーナに場所がえをして参加者が263人、これも様子を聞かせてください。

社会教育課長

まず、小学生を持つ親の講座でございますけれども、小学生ということの特性に合った講座というものは今までありませんで、今回、特に小学生の特有の心理を勉強するプログラムを組んでおります。

初回は参加者のアイスブレイクを兼ねて、ペアレントサポーターの杉本章子さんにフリートークとディベートをやっていただいたんですが、2回目以降はプチ心理学をやっております。非常に、小学生の特性に合った形のものが好評でございました。

それから、親子ふれあい講座ですが、場所を広いところにして、今回はたけちゃん先生というそうなんですけれども、羊たちのスポーツキッズで、何か非常に有名な竹内淳先生を招いて、親子で遊ぶ楽しい、体を使ったプログラムを打ちました。

そうすると、お父さんの参加が非常によろしいということで、お父さん方の参加もたくさんあって、家族連れだって、御夫婦と子供という形でたくさん参加があったということです。

ちなみに、父親が61人、母親が83人、おばあちゃんが1人、それから子供たちが118名という内訳でございました。これも、チラシも工夫しまして、非常に敷居を下げた形で楽しい講座に仕立てにするとところが好評だったのではないかというふうに思います。非常ににぎやかということでした。

委員長

はい、ありがとうございます。

私も講座を持っていますけれども、父親の参加する講座というのはなかなか参加していただけなくて苦戦しておりますけれども、これは素晴らしい、父親がたくさん来ていただいて。

社会教育課長

はい。狙い目を、チューニングをするといういいということがわかりました。

委員長

ありがとうございます。

文化課に、一つ感想ですけれども、9月21日の棟方志功の石井さんのお話を伺いました。非常に、子供たちにも聞かせてあげたいお話でして、自然、青森県の生まれの方なんですけれども、非常に自然が好きで、何も見なくてもカワセミの絵がすぐそらで描けるとか、それから、山の形が、いつも見ているものだからそらで描ける。そこまでは私も一緒だったんですけれども、そこからが棟方志功先生との違いがありまして、その違いがどう生まれたかということをお話をさせていただきましたので、非常に興味深いお話でした。

ぜひまた、機会があれば学芸員の方にまたお話をさせていただければいいなと思いますのと、それから、博物館本館よりも分館のほうが点数が多いんですね。展示の点数が。ですから、ぜひ分館のほうもみなさん行っていただければと思いました。

以上です、ありがとうございます。

文化課長  
委員長

ありがとうございました、委員長。

もう一つ。

もし、図書館課と関係してもらえれば、棟方志功全集がぽつとあると、博物館へ行った帰りに寄って、おもしろかったなど。それは個人的に思いました。ありがとうございました。

また今後もお願いします。

文化課長

ありがとうございました。当日来ていただきまして、ありがとうご

委員長

ざいます。

博物館のほうでプロジェクターの具合が悪くて来ていただいた皆さんに大変御迷惑をおかけしましたので、何分、まちづくり島田、文化振興からのお古をいただいたものですので、ぜひ、来年度は新しいものを購入できるようにしていきたいと思っております。

もう一つ、大事なことを。

もう一ついいですか、感想で申しわけないです。

棟方志功さんが東海道の五十三次の棟方版をつくってもらったんですけれども、そのときに現地を訪れているんですね。東海道をずっと。

で、島田に来て何を棟方志功が目について版画にしたかというのがあって、一つは、これは言っているんですかね。一つは、何と大井神社の鳥居の前の灯籠の下に書いてある石ですね、石に碑文が描いてあるんですけれども、そこにすごく興味を引かれたのと、それからもう一つは、大井川のJRのアールの鉄橋ですね。アールじゃなくて直のほうですね。その鉄橋が非常に興味を持たれて、何か、そういった最新型のものをすごく好まれたのが意外でした。ぜひ、皆さんもごらんになっていただければと思います。ありがとうございました。

A委員

25日までですね。

委員長

25日までです。

はい、C委員。

C委員

棟方志功と出まして、今度は徳川家康のほうで図書館課と文化課の連携ということで出たんですが、実は、家康公400年祭にちなんだJRのさわやかウォークというのがあって、それも志戸呂焼の窯元めぐりというのを見つけまして、日にちが10月18日なので、ちょうどこの期間だなと思いました。

自分も行ってみたいなと思いましたが、五和駅がスタートでゴールということなので、少し寄り道をして、図書館に寄り道をすれば、諏訪原城址も見ることができるということで、知人にも紹介して宣伝したいと思います。

委員長

学校教育課長に。

2学期が始まってすぐの運動会ですけれども、大変悪天候が続く中で、運動会の日だけは非常にいいお天気で、先生方の熱い思いが気分に伝わったのと、子供たちの願いがかなったのかなという話をしておきましたけれども、本当に、非常に短い期間に練習をしていただいたにもかかわらず、とても競技も充実していましたし、それから子供たちの放送とか道具の準備とか、非常にうまく御指導をされていました。

きっと、運動会の後、団結力といいますか、クラスの団結力がさら

学校教育課長

に増したのではないかなというふうに思いました。すばらしい指導をされているなど、また何かの紙面で御紹介ください。よろしくお願ひします。

どうも、いい御指摘をありがとうございました。

本当に、中学については本当に時間が、外でやる時間が少なかつたんですけれども、生徒たちは、特に応援などは夏休みの終わりぐらいからも場所を見つけて相談してやっていたということを知りましたので、体育大会が一つの節になって、また次の、10月の文化祭ということで、中学生がだんだん成長を遂げる、いい意味での行事だったと思っていますので、また何かの機会に伝えたいと思います。御指摘ありがとうございました。

委員長

教育長はいかがですか。

教育長

僕はいいです。

委員長

いいですか。

#### 付議事項

委員長

それでは、次に移ります。

#### 協議事項

委員長

付議事項はありませんので、協議事項へ行きたいと思います。

教育総務課長

それでは、17ページ、教育委員会に関する事務の点検・評価につきまして、御説明させていただきます。

例年やっている事業でございますが、本年につきましては第8回目ということになりますので、委員の方も十分御承知だと思いますが、再度説明させていただきます。

本制度につきましては、教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして、実施するものでございます。当該年度事業の自己評価をした上で、それを外部評価者の客観的な意見をいただきまして、次の年度の改善につなげていくという事業評価法でございます。

お手元の資料の3にございます外部委員につきましては、昨年度と同様、小田島さまと仲安さまにお願いするものでございます。

それでは、資料の20ページ、21ページが実際に評価する書式でございます。この書式については、昨年度と変わっておりません。

22ページ以降に、本年度の事業スケジュールでございます。まず、10月上旬に外部評価者と各課の意見交換をします。それから、それに基づきまして各課で本年度の自己点検をしていただきまして、その後、12月中旬に再度外部評価者の意見を伺いまして、12月の教育委員会に1次評価という形で提出させていただきます。

その後、外部評価者の講評を含めた意見をいただきまして、年が変わりました1月の教育委員会におきまして最終的な点検評価のほうを報告させていただきます。

それから、2月議会に説明をさせていただきます。その後、広報

誌、あるいはホームページにより市民に報告していくという形でございます。

実際のところ、上半期を終わったところで1年間の事業評価ということで、なかなか毎年難しい面がございますが、その辺は今後の事業の展開も含めまして評価していただきたいと思っております。

中身につきましては、昨年度と同様5段階評価をさせていただきたいと思っております。昨年度につきましては、期待を大きく上回るというS評価の事業はございませんでした。期待を上回るA評価事業につきましては、昨年度は4件、あとはおおむね期待どおりというB評価が全体の18件のうち14件ということで、おおむね期待どおり、期待を上回るという二つの評価に集中いたしましたところでございます。期待を下回る、効果がないという自己評価はございませんでした。

ことしもこういう形で5段階の評価をさせていただきたいと考えております。

これにつきまして、例年と同様の仕様でございますが、このようなやり方でよろしいかどうか、協議をお願いしたいと思います。

委員長

点検・評価に関する説明が終わりました。御質問、御意見ありましたらお願いします。

教育総務課長

委員長、済みません。

委員長

はい。

教育総務課長

つけ足しでございます。

前回、事務局で話をした折に、事業仕分けのほうとを、どう反映していくかという議論がございました。

一応、これにつきましては自己の点検評価ということでございますので、若干、趣旨が違うものですから、一番最後の仕様の最後のところに、上記評価を踏まえた事業の課題というところあたりにその関係のものを記載したらどうだということで、事務局のほうでは話をしているということです。

そういう形でやらせていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

委員長

2ヵ月前でしたか、教育委員会月報、ここに各教育委員会のいろいろな施策とか、それから事業の内容が載っております、その中に、自己点検評価をしているかというのがはい、いいえとありまして、非常にこれは重要だなと思ひまして、読んでそう思ったんですけども。

まだ、できていないところももちろんありますが、自分たちの事業を自己点検するということが非常に重要なところであるというふうな向きのことが書いてありまして、全くそのとおりでないと思ひました。

時期半ばで評価するというのは本当に大変なことなのですが、

我々、会社のほうも同じようなことをしております、自己点検を、自分の仕事を点検していくということは次の計画をするために大変必要なことなので、このとおりで実施していただきたいなと思います。

先ほどの事業仕分けの件についても、自己で点検するということが外から評価されるということはまた別問題なので、ぜひ、この方向でお願いしたいなと思います。

いいですね。はい。

それでは、問題がないようですので、昨年同様をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

### 協議事項の集約

委員長

それでは続きまして、次回教育委員会定例会における協議事項の集約について、事務局から提案するものはございますか。なければ、各委員のほうからはいいですか。ないということですね。はい。

### 報告事項

委員長

それでは、8番の報告事項に移ります。

教育総務課長

それでは、23ページをごらんください。

平成27年8月分の寄附受納につきまして、御報告させていただきます。

湯日小学校に、谷田川報徳社から3年生、4年生の教室の黒板を寄贈していただきました。古い黒板にかわりまして、新しい黒板を設置させていただきました。

それから、第一小学校につきまして、PTAから研修室にエアコンをいただいております。

続きまして、六合東小学校でございます。小林製薬株式会社から、トイレの改修、男女各1基ずつ、洋式化と乾式の防臭床シートを張ること、それから、男子の小便器の前に足形のマークをつけるというような整備をしていただきました。

これは、小林製薬がちょうど2019年に100周年を迎えるということで、全国の100の学校に洋式トイレをプレゼントするという事業がございました。本年度につきましては、全国で12校で設置されることになりました。

これは、各学校が応募して、くじに当たった場合にやっただけということでございます。六合東小学校の校長さんがエントリーしまして、幸いなことに当たっていただいたということでございます。

六合東小学校につきましては、現在、今まで洋式化率が25%前後ということで、この2基を入れましておおむね30%になりました。

市内の小中学校が、全体が約50%ぐらい、今、洋式化が進んでおりまして、六合東小は少しおくられている部分がございますので、また計

画的に整備をしていきたいと考えております。

説明は以上でございます。

報告事項、27年8月分の生徒指導についてお願いします。別冊です。ごらんください。

1の問題行動の月例報告です。8月は、家庭内暴力事案が数件報告されました。

児童生徒の問題行動の背景に、複雑な家庭環境が関係している可能性を感じています。このような児童生徒は、自分を肯定的に受けとめる体験が希薄なため自己中心的な考えや行動を起こすことが多い。また中には自分の将来を悲観的に捉えている児童生徒もいるととらえています。以下、ドリームマップについてはお読み取りいただきたいと思います。

2番に行きます。

島田市の不登校数の推移についてです。8月11日に、みんくるで第2回わかあゆの会、これは進路学習会ですが、開催されました。当日は中学校1、2年生及び特別支援学級からの参加生徒があり、学校が早い時期から将来を見据えて関係保護者に働きかけてくれた成果を感じました。

実際、学校説明会には島田市出身の現役高校生もプレゼンターとして来場し、中学校時代に不登校だった自身の経験と、高等学校へ行ってやり直したきっかけを自分の言葉で説得力を持って語ってくれる場面もありました。大変有効な学習会だったと言えます。

2学期が始まって、スクールソーシャルワーカーが各学校に対して1学期に行ったケース会議の確認を、今、行っています。不登校の事案についても積極的にスクールソーシャルワーカーを活用したケース会議を実施していただきたいと考えています。

3番は、教育センターの活動実績です。そこはお読み取りをいただきたいと思います。

4番の、いじめにつながる事案の報告件数です。国研が作成した生徒指導支援資料5、いじめに備えるという情報誌がありましたので、それを各校へ通知しました。その中に書かれている未然防止、あるいは早期発見、早期対応については、確認をし、具体的な取り組みをお願いしたいと思っています。

10月5日に、市の生徒指導研修会がありますので、そのときにもいじめにかかわることについて各校に依頼をする予定です。

5番の、交通事故の件数です。8月は5件です。小学校では停車中の車の前を横切ろうとして事故に遭ったケースが数件報告されました。ちょうど1年前に中学生の事案がありましたので、さらに気をつけてほしいなと思っています。

また、長期休業中ということもあったので、保護者からの事故報告が遅れたり、なかったりという、後でわかったというようなケースがありましたので、第一報をとにかく学校にもらうような組織体制を構築していきたいと思っています。

また、市の土木課より、通学路の合同点検の依頼が各校に上がりましたので、その結果をもとに対応をしていく予定でいます。

6番、各校からの不審者情報についてですが、8月は3件の不審者情報がありました。露出事案2件と声かけ事案です。

また、8月には大阪府の寝屋川市で起きた中学生殺害事件では、子供の深夜徘徊について物議を交わしています。一応、午後11時以降の外出は、静岡県青少年のための良好な環境整備に関する条例の深夜徘徊の行為にふれるので、警察の補導対象にもなっていますし、夏休みには保護者にも、夜の外出について、あるいは友達のうち泊まりに行くことについては注意するように協力していただいているところ

です。

以上です。

文化課長

文化課ですが、25ページをごらんいただきたいと思います。報告事項ですが、島田市芸術文化奨励賞選考委員会委員の委嘱又は任命についてということで、先月の教育委員会で推薦された方の報告をさせていただきましたが、今回、選考委員について報告をさせていただきます。

こちらですが、選考委員会につきましては学識経験者6人以内、教育委員1人、市職員1人となっておりますので、これに基づきまして選任をさせていただきました。

今回、宮村さんは現代書道という形で、書だけでなくそれを絵画的に表現されている方でもありましたので、書道の専門家、さらには美術、絵画の専門家の方に委員になっていただきまして、こちらに書いてありますように、教育委員からは北島先生を推薦していただきました。

そのほかに、島田市の校長会からは金谷中学校の校長先生の池谷先生、あと教育研究会からは島田第五小学校の天野先生、あと、金谷高校書道部顧問の油井先生、静岡県書道連盟監査をやられております、元文化協会の会長でもあります塚本先生、島田市美術協会会長の山本晶司先生、さらに教育部長の畑部長にお願いをいたしまして、島田市芸術文化奨励賞の選考をお願いしたいと考えております。

10月には選考委員会を開催いたしまして、11月には表彰をしていきたいと考えております。

以上です。

委員長

はい、ありがとうございます。

報告事項が終わりました。御意見、御質問ありましたらお願いします。

A委員 はい、A委員。  
報告事項のところ、六合東小学校のトイレの改修が載ってありました。

先日、学校訪問にたまたまお邪魔したときに、きれいになったばかりのトイレをみんなで見させていただきました。たいへん明るくなって、何よりだったなど。校長先生がまたいろいろなものに応募すると意気込みを語ってくれましたので、頑張ってくださいとお伝えしました。

委員長 当選したのはすごい確率ですね。すばらしい。きれいでよかったです。

委員長 はい、ありがとうございます。

C委員 はい、C委員。  
私もA委員と同じ感想で、トイレのことです。同じ思いで少し言わせてもらおうと、床が清掃しやすく清潔に使えて、子供たちも嬉しんだろうなということと、学校って安心して生活できる場所なので、トイレが嫌で入りたくないとか入れないとかという登校しぶりを聞くこともありますので、本当に応募に当たってよかったと思う一方で、応募しなくても予算でそういうトイレをたくさんつくっていただきたいと思いました。

教育総務課長 トイレの問題につきましては、従前からいろいろ課題があったので、家庭環境のほうが学校の環境より進んでしまったということで、かなり支障が出てくるという場合があるということを知っております。

市長も、トイレ等にはかなり関心を持っておりまして、今後の計画の中で改修は積極的にやっていきたいという市の意向もありますので、少しずつではございますが進めていきたいと思っております。

ちなみに、この3市で見ると島田が一番今のところ進んでいるという状況でございまして、まだ、藤枝、焼津等の状況につきましては島田より整備は少し遅れているという話は聞いております。

委員長 以上です。  
では、私のほうから、学校教育課の報告の中で二つ感じましたので。ドリームマップの話ですけれども、そのドリームマップをつくるのにいつもネックになるのは、憧れるものがその子に生まれるかということが非常に問題で、何を憧れにするかということなんですが、また棟方志功さんの話に戻りますが、子供のころは普通の子供だった子がどうして一流の版画家になれたかというところを、我々が子供たちに紹介するチャンスをたくさん与えてあげればいいのではないかなと

いうふうに、この文章を見て思いました。

それが一つと、それから、2番目の不登校のところ、わかあゆの会で説明を、経験者が説明してくれたという、非常に説得力のある試みをしていただいて、驚きました。自分の言葉で自分の不登校だったことを発表するって、非常な努力というか覚悟が要ったのではないかと思います。その子がそういう発表してくれている場をつくったというスタッフの心意気といいますか、意気込みを感じます。ありがとうございます。

以上、感想でした。

はい、A委員。

A委員

教育センターで、その子供と本当に向き合っていてくださった成果ではないかなと思うんです。その子供さんが自分の過去を話をしてくださったのはね。

去年は行きませんでしたね。

教育長

このメンバーでは行かなかった。

A委員

行かなかったですね。その前の年ですけれども、お邪魔したときに、本当に丁寧に乱暴な言葉づかいをしている子にも、子供としてというよりも一人の人間として先生方が指導をされているのを見ました。

それがすぐに成果が、いつあられるかというのは全く誰にもわからないです。今、萩原先生と永井先生がいらっしやって、パワーアップされて、今に至っているのではないかなと思います。

そういう子が何人も出るといいなというふうに思っています。ありがとうございます。

教育長

きょう、それこそ萩原先生と少しお話したんですが、9月になって特に不登校がふえたという様子は、センターのほうではないということを知っています。

夏休み明け、長期休業明けって、どうかすると不登校がふえる傾向があるんですが、それは今のところ見られない。

だけど一方で、すごく手のかかるというんですか、本当に1対1で対応しないとまらない子供がふえているかなというような感想を言っていました。それにきちっと対応してくれているものですから、今のよう成果につながっているのではないかということは思っています。

以上です。

委員長

はい、ありがとうございます。

はい、C委員。

C委員

先週の新聞で、昨年度の問題行動調査の結果が文科省から発表されて、新聞の大きな見出しが、小学校の暴力最多1万1,000件、という見出しでした。小学校の低学年の粗暴行為ということで、毎月の定例会で学校教育課長からお話を聞いていたので、新聞を見たときに、あ

あ、島田市内だけではなくて全国的にそういう傾向があるんだなと思ったことと、今年度の結果はまた来年度に出るということで、さらに多くなったよという記事が出るのかなという、そんなことを思いながら読みました。

いつも学校教育課長が報告くださることで、件数がふえているということは、程度が軽くても1件とみなして報告すること、それが思い出されました。件数がふえてだめだなとか困ったなというのではなくて、知らされた私たちが、今一番問題になっている、養育環境が低い子供たちを支援していくという考えを持つ必要があるのかなということも思いました。

それと、ドリームマップのほうの感想で、学校訪問のときに、夢から始まるやる気と自信を合言葉にしている学校がありまして、このドリームマップの目的や方向がたぶん同じだろうなということも思いました。

結構、どこの小中学校も夢を持ってと取り組みをしていると思うので、この指導報告のところに出ているドリームマップを参考にすれば、より楽しく、子供たちが夢を持ってそれを実現していくのではないかと思います。ありがとうございます。

委員長

いいですね。はい。

### その他

委員長

それでは、その他に移ります。

会議日程について、今回は第10回島田市教育委員会定例会、10月22日木曜日午後2時から、ここの場所を予定しております。

では、事務局。

教育総務課長

11月でございますが、本来でしたら11月26日木曜日が定例の日でございますが、議会等の日程がございまして、11月27日金曜日の2時からお願いできればやりたいと思います。

委員長

11月27日金曜日、14時。

それでは、次々回は11月27日金曜ですね。金曜日の午後2時から、ここ第1会議室で行います。

それでは、以上をもちまして。

社会教育課長

委員長、済みません。終盤に申しわけありません。報告が遅くなりまして。

口頭で1件、報告させてください。

社会教育委員の大柿未央子さんが市外へ転出されるということになりました。社会教育委員を続けることができなくなりました。

ということで、退任ということで、公募をさせていただきたいと思っています。

枠としては市民公募でございまして、公募して後任を選ばせていただきたいというふうに思っております。

図書館課長

また、詳しくは後任等定まりましたら、次回御報告をさせていただきますと思います。御承知おきください。

失礼しました。

大柿さんにつきましては、図書館課につきましても図書館協議会の委員をお願いしているものですから、これにつきましてはまだ確定していないんですけれども、会長と相談しまして、今後人選について検討したいと思っております。

また決まりましたらお知らせさせていただきます。

委員長

はい、わかりました。また御報告ください。

文化課長

引き続きまして、失礼します。

大柿委員につきましては、博物館の協議会委員もやっていただいております。

協議会委員ですが、平成26年7月1日から平成28年6月30日までの2年間ということで、公募による委員をやっていただいておりますが、今回、これで退任ということなのですが、博物館協議会ですが、実施をしてあと1回ですので新たな公募はせずに、このままでいきたいと考えております。

委員長

わかりました。

図書館課長

資料をお分けしてあるうちの、川根図書館の利用の状況の報告をさせていただきますと思います。

8月26日にオープンしまして、9月20日まで開館の22日間の報告をさせていただきます。

来館者につきましては2,225人で、1,905人の御利用をいただいております。来館者につきましては、1日平均約100人でありまして、例年に比べますと2.5倍、オープン当初なものですから、見学に来られる方も多く、非常に大きな数字になっています。

利用者につきましては、1日49.8名、例年に比べますと倍になっております。

利用の内容につきましては、小学生が非常に多くなっております。小学生につきましては3倍の増加になっておりますけれども、9月1日と3日に子供たちの説明会を図書館で行いまして、その場で子供たちがみんな借りていったものですから、1日と3日は非常に多くなっております。

グラウンドが使えないものですから、どうしても昼休みにみんな図書館に遊びに来て、そこでまた本を借りていってくれるという形で、非常に多くなっております。これをこのまま引き続いて大勢に借りていただくよう、学校とも常に連絡を取っておりますので、いろいろな検討をしながら、子供たちがたくさん借りられるよう検討していきたいと思っております。

学生ですけれども、22日間で51人と、人数は少ないんですけれども、例年の同じ時期でいきますと、去年は7人しか利用しておりません。それと比べると非常に多くなっております。これについては、やはり学習机を設けて、子供たちが勉強しやすい場所ができたということ。それと、川根中学校の10人の方にボランティアをやっていただきまして、その子供たちがみんな来てくれているのかなと思っております。

一般につきましては、26%の増加になっております。これについては、新しくなって利用しやすいという形の中で26%になっていると思います。これにつきましても、いろいろ地元とも協議しながら、いろいろなイベント等も組んで、皆さんが来やすい図書館にしていきたいと、このように考えております。

いずれにしても、2倍近い利用者が来ておりますので、これを継続するよう進めていきたいと思っております。

以上です。

委員長

はい、ありがとうございます。

A委員

A委員、いいですか。

図書館課長

これを伺おうと思ったので、よかったです。

委員長

申しわけありません。

A委員

うらやましいですね。

やはり便利ですね。みなさんの評判は、上まで登らなくていいというのがよかったです。ありがとうございます。

教育長

チャリムの活用が課題になるね。

A委員

そうなんですよ。

委員長

はい、よろしいですか。

それでは、以上をもちまして第9回島田市教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉 会 午後3時15分